



2021年10月 発行 理事会
 生活クラブ生活協同組合
 〒524-0044 守山市古高町 110 番地 8
 077-514-2028 組合員数 3031 名

インスタ公式
 フォローしてね!



8月、滋賀県にもまん延防止等重点措置に続いて、ついに緊急事態宣言が発令され、9月30日まで延期になり、コロナの終焉はなかなか見えてきません。そんな中、コロナウィルスに配送職員3名が罹患しました。

代わりに配送ができる職員は限られており、消費材が届けられなくなるピンチに、関西の他府県の生活クラブの職員が応援に駆けつけてくれました。ありがとうございます!!

知らない土地で地図だけを頼りに配送コースをまわっているため、大幅な遅れが発生してしまい、組合員にはご心配とご迷惑をおかけしました。

滋賀の職員もいつものコースを終えた後に、遅れたコースのフォローに駆けついたりパート職員を含め、全力で対応にあたり、怒涛の2週間を終え、大きなピンチは切り抜け、職員も復帰しました。

この2週間、イベントや委員会などの組合員活動をすべて中止または延期にしました。

また改めて企画しお知らせしていきますので、ぜひ参加してください。

理事長 秋久保

みんなのデータサイト「食品等の出荷制限」における放射性物質

100ベクレル/kg緩和案の撤回を求める署名に取り組みました!

601筆 全国集計2次署名31586筆 24団体

私たちの消費材は、放射能検査を実施しています。国より厳しい基準を設けています。今回の署名は「みんなのデータサイト」という団体の呼びかけに賛同し取り組みました。10年前の福島第一原発事故で放射能の汚染が広がり、私たちの食卓にも影響をもたらしました。もう10年過ぎたから大丈夫なのでしょうか?

私たちの身体をつくる食について、添加物や農薬はもちろん放射能も気をつけていきましょう!

♪登録して食べよう♪

りんごの季節がやってきました!



気候危機は私たちの食卓も直撃します。この春、りんごの花が遅霜の被害に合いました。

毎週届けている産直ニュースには、産地の様子や果物や野菜の届く時期が載っています。チェックしていますか?!

4月の遅霜の被害により、計画していた収穫量には届かない見通しです。そのため登録しておかないと、今年りんごが食べられません。いつもトラックで引き売り分を買うということは、本来私たちが約束して食べるという形ではありません。登録の数が目標に届かず、食べる約束の数に届いてないという結果です。これが続くと、消費材が食べられなくなります。

この機会に、登録して食べる習慣を身につけていきませんか? 一週間分の計画利用を心がけていくことが気候危機や、脱炭素社会につなげられる私たちの一歩ではないでしょうか。





消費材紹介☆りんご



無袋栽培・・・一般的には見栄えを重視するために袋をかけて栽培します。無袋栽培では土壌管理、施肥、病害虫防除等、有袋栽培より何倍もの時間と労力がいらいます。その分、太陽光をしっかりと浴びて糖度やビタミンC含有量もUP！

除草剤不使用・・・農薬についても出来る限り減らして栽培。環境ホルモンの疑いがある農薬は不使用。

猛暑や長雨など気候危機の影響は、私たちの暮らしにも身近になってきています。

毎年のお楽しみのりんごについても、4月に温かくなった！と思ったら気温が下がる日があったことで霜がおり、大きな被害が発生しました(凍霜害というそうです)。

りんごは様々な種類がありますが、例えば、【つがる】は平年の8割弱の供給予定、一番被害を受けている品種・【ふじ】はよくて平年の半分程度の収穫となる見込みだそうです・・・

りんごの生産者・信州八ヶ岳会だけでなく、果物や野菜(もちろん他の消費材もですが)の生産者の皆さんは、この気候危機の中、日々努力しておられます。

生活クラブの果物や野菜は、予約注文が基本。しかも旬の時に出荷となるので、欲しい時に手に入らない時も・・・でもそれが自然の恵みをいただくということなのかも！

食べる量を約束し引き受けるという生産者との繋がりがあからこそ、私たちが食べたい消費材を食べ続けられるのです☆

平年よりも予約できる回数が減っている品種もあります。カタログとは別に配布されるチラシも忘れずチェックしながら、美味しいりんごや果物を予約登録しよう(^_^)/

そして気候危機に対しても一人ひとりが知り、できることから始めたいですね！



果物といえば・・・☆こちらもおススメ☆パラゴンバナナ

生活クラブは国産にこだわります。

ただ、国産で手に入らないものはフェアトレードで輸入しています。

パラゴンバナナの民衆交易が始まって30年以上。

パラゴンバナナが生産者の定期的な収入源となり、

そして日本の私たちにもっと美味しいバナナを届けたい！

と日々農業技術のレベルアップにも力を注いでおられます。

一般的にバナナなどの輸入果物には収穫後、出荷前に防カビ剤がかけられます(ポストハーベスト)。国内で収穫したのものには防カビ剤の使用は認められていませんが、海外で防カビ剤処理したものを日本に輸入することは認められています。国の基準はあるとはいえ、防カビ剤による発がん性や染色体異常、遺伝子損傷性の危険性がいわれることも・・・

まずは月1回の登録から始めてみませんか？

その約束が消費材を未来へ残していくことにつながります☆



パラゴン バナナ 国産 AB

◎原産国=フィリピン
◎提携生産者=(株)オルター・トレードジャパン
お菓子の原料に作り、3ヶ月以上にわたって使われます。

**栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用
収穫後の防カビ剤も不使用**

登録ABCD
約3kg(1.5kg×2)
(約20~30本)
1,465円(税込1,582円)

登録ABCD
約1kg
(約7~10本)
536円(税込579円)

Q：蒸しパンについて

NON-GM（緑）となっているが、主要材料が小麦粉、砂糖が国内製造となっている。国内産ではないのか？or 外国産でNON-GM、グリホサート（プレハーベスト）処理されていないのか。

A：

- ・ 食品表示法の改正で、加工品は「原材料の産地」ではなく、「製造地」を表示するよう義務づけられました。ですので、消費材も、材料に対しての「国産」ではなく、製造地としての「国内産」という表示を必ずしなければならないのです。
- ・ 小麦粉は愛知・岐阜県産で、砂糖はてん菜由来で、北海道です。遺伝子組み換えではありません。基本は国産という方針は変わりません。
- ・ 小麦はパンの原材料となり、生活クラブの基準での栽培方法の指定はできていません。日本国内の栽培基準に則っています。
- ・ 生活クラブは、野菜ボックス、根菜類、果物など、登録や予約で案内している、生産者、栽培方法を指定している消費材については発がん性のある農薬、環境ホルモンの疑いのある農薬は使わないことを基準にしていますので、グリホサートは使っていません。また、プレハーベストはしていません。わたしたちの「食べる力」で、栽培方法が指定できる生産者との関係をつくりあげています。
- ・ わたしたちが消費材の利用を増やし、新しい仲間を増やして、全体として食べる量を増やすことで、原材料の栽培方法も指定できるようになるかもしれません。

Q：野菜で、栽培期間中農薬不使用を基本に栽培とあるが、期間外はどういう農薬を使用しているのか。

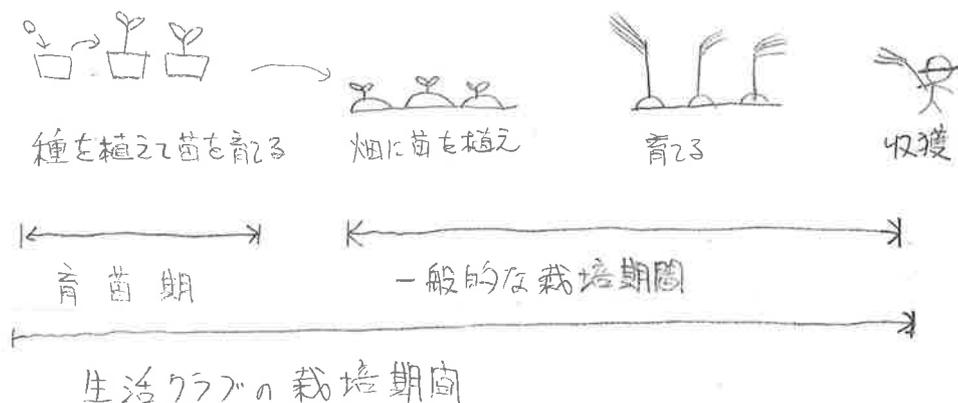
A：生活クラブの言う栽培期間中とは、育苗から収穫までをいいます。期間外は種を作る場面で、生活クラブの栽培基準は当てはめず、国の基準に則った作り方をしています。



→ 種をとるために、種を生産する生産者がいます

この栽培基準は設けていません。

生活クラブの生産者は、自家採集する生産者、JAなどから購入する生産者があります。



Q：「ざくざりポテトチップス」という消費材が、滋賀以外の生活クラブにあるそうです。滋賀でも取り扱って欲しいです。

A：じつは、以前、取り扱っていました。利用量が少なく、取り扱いがなくなりました。わたしたちの食べる力で消費材を作っていますので、利用量が減るとなくなります。わたしもなくなつては困る消費材がたくさんあります。みんなで利用を増やしてきましょう。

